

【難病センター市民公開講座を開催いたしました】

2020年1月18日（土）12時30分から、関西医科大学附属病院13階講堂において、「関西医科大学附属病院難病センター市民公開講座」が開催され、枚方市民ら97名が参加しました。

今回は数ある難病疾患の中から4疾患を取り上げ、3名の当院医師が講演を行いました。

講演1.「潰瘍性大腸炎・クローン病」 消化器肝臓内科 福井寿朗 准教授

講演2.「パーキンソン病の診断と治療」 脳神経内科 中村正孝 講師

講演3.「多発性のう胞腎の診断と治療」 腎臓内科 塚口裕康 診療科長

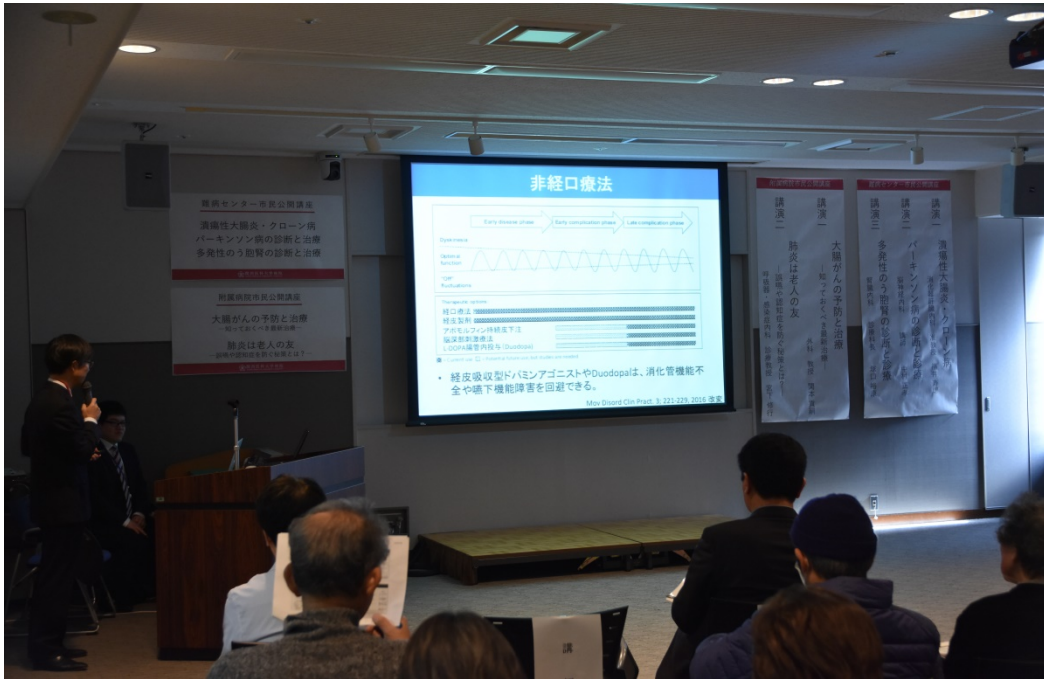
講演では各難病疾患の特徴、診療に関する解説、難病診断後の医療費助成制度について説明が行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。講座後には「今後、他の疾患についても講演を行ってほしい」、「さらに詳しく疾患について教えてほしい」等の感想が寄せられ、市民からの難病に関する関心の高まりが感じられました。

多数のご参加ありがとうございました。

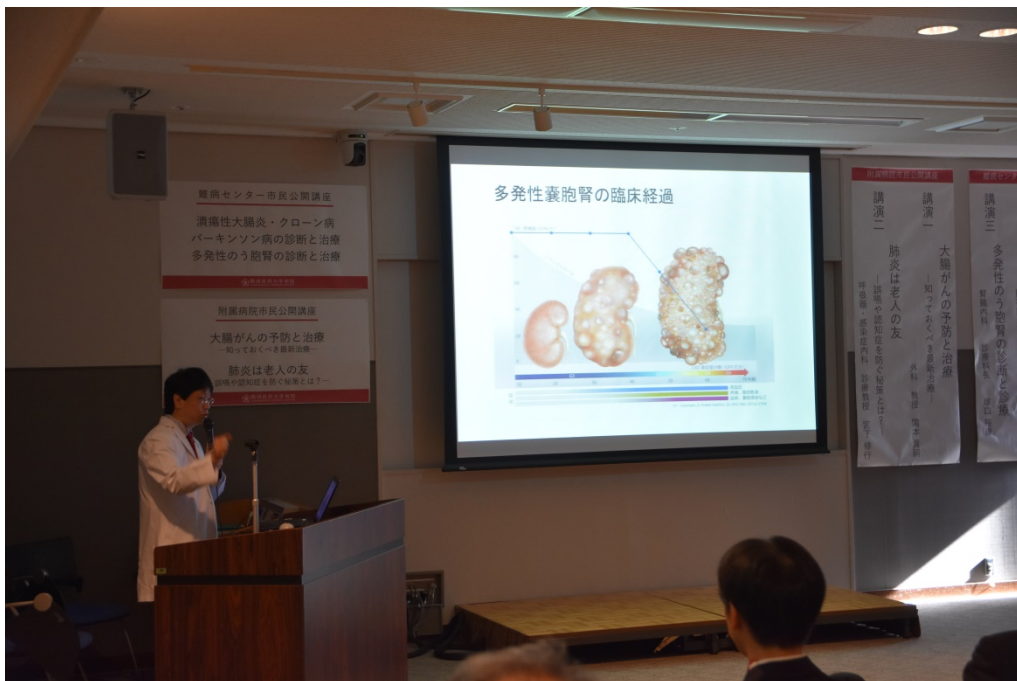
難病センターでは今後も難病について市民の方々に広く知ってもらう為の企画を実施して参りますので、ご期待下さい。



「潰瘍性大腸炎・クローン病」講演を行う、消化器肝臓内科 福井寿朗 准教授



「パーキンソン病の診断と治療」講演を行う、脳神経内科 中村正孝 講師



「多発性のう胞腎の診断と治療」講演を行う、腎臓内科 塚口裕康 診療科長